



平成 21 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 6 月 30 日

上場会社名 株式会社 ジクト 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 9901 URL <http://www.zict.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治
 問合せ責任者 (役職名) 取締役第一管理部長 (氏名) 太田 一義 TEL:(028)625 - 0038

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況(平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21 年 2 月期第 1 四半期	5,379(5.0)	413(46.9)	376(47.4)	291(29.9)
20 年 2 月期第 1 四半期	5,125(4.1)	281(198.1)	255()	224()
20 年 2 月期	21,672	1,463	1,369	517

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21 年 2 月期第 1 四半期	1 28	1 16
20 年 2 月期第 1 四半期	1 04	93
20 年 2 月期	2 32	2 15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 2 月期第 1 四半期	18,984	3,947	20.8	3 38
20 年 2 月期第 1 四半期	20,303	3,287	16.1	22
20 年 2 月期	18,871	3,841	20.4	2 59

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第 1 四半期末
	円 銭
20 年 2 月期第 1 四半期	- -
21 年 2 月期第 1 四半期	- -

3. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想(平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	11,076 1.2	738 0.4	693 3.7	428 56.9	1 86
通期	22,290 2.9	1,495 2.2	1,417 3.5	861 66.3	3 74

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題による金融・株式市場の混乱等による不安や原油価格の高騰による物価の上昇が、個人消費に影響を及ぼすなど、景気に減速感が出てまいりました。

当社グループの基幹となる外食産業におきましては食品の安全上にかかわる事件の多発、食材の値上がり、飲酒運転に関する規制強化等、依然として厳しい状況のもとに推移しました。

このような状況のなか当社グループにおきましては、新店を 2 店舗(ステーキ宮 1 店・いろはにほへと 1 店) 出店し、業態変更を 8 店舗(エムズダイニングからステーキ宮へ 4 店舗・北海道からステーキ宮へ 1 店舗・暖からステーキ宮へ 1 店舗・グリーンガーデンからエムズダイニングへ 2 店舗)、リニューアルを 4 店舗行い、売上増加を図ると共に経費の削減を行い利益の確保を図りました。また、当期間中に不採算店舗を 1 店舗閉鎖、業態整理のために 1 店舗閉鎖、経営の効率化のために 7 店舗を売却しております。

当第 1 四半期末の直営店舗数は「ステーキ宮」を中心とした洋食店舗が 62 店舗、「寧々家」を中心とした和食店舗が 92 店舗、カラオケプラザ時遊館 23 店舗、その他 8 店舗となり計 185 店舗となりました。

当第 1 四半期における売上高は、不採算店舗の閉鎖による減少はありましたがアムゼ株式会社の吸収合併及び新店の売上増加により前年同期に比べ 253 百万円増加し 5,379 百万円となりました。

営業利益は前年同期に比べ 131 百万円増加し 413 百万円となり、経常利益は前年同期に比べ 121 百万円増加し 376 百万円となりました。

当第 1 四半期純利益は、前年同期に比べ 67 百万円増加し 291 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期の総資産は、前連結会計年度末と比較して 112 百万円の増加し 18,984 百万円となり、純資産についても前連結会計年度末と比較して 105 百万円増加し 3,947 百万円となりました。

総資産の増加は主に当第 1 四半期の利益による現預金の増加であり、純資産の増加は当第 1 四半期の利益による利益剰余金の増加です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、現状計画通り進捗しており、平成 21 年 2 月期の連結売上高は 22,290 百万円(前期比 2.9%増)、連結営業利益は 1,495 百万円(前期比 2.2%増)、連結経常利益は 1,417 百万円(前期比 3.5%増)、連結当期純利益は 861 百万円(前期に対して 343 百万円増)と、平成 20 年 4 月 11 日付当社「平成 20 年 2 月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想と変更はありません。

(注)上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算は簡便的な方法を採用しております。

影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より、所有権移転外ファイナンス・リース取引の通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理へ変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 21 年 2 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成 20 年 2 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金	1,446	1,351	94	6.6	1,228
2.その他	1,188	1,319	131	11.1	1,271
流動資産合計	2,634	2,671	36	1.4	2,500
固定資産					
1.有形固定資産	11,710	11,197	513	4.4	11,150
2.無形固定資産	108	96	11	10.6	92
3.投資その他の資産					
(1)投資有価証券	1,232	797	434	35.3	758
(2)差入保証金	4,273	3,813	460	10.8	3,903
(3)その他	334	404	70	21.1	461
投資その他の資産合計	5,840	5,015	825	14.1	5,123
固定資産合計	17,659	16,309	1,349	7.6	16,366
繰延資産	8	3	5	63.8	4
資産合計	20,303	18,984	1,318	6.5	18,871
(負債の部)					
流動負債					
1.短期借入金	869	282	587	67.5	324
2.その他	3,846	4,579	732	19.1	4,123
流動負債合計	4,716	4,862	145	2.1	4,447
固定負債					
1.社債	2,967	2,903	64	2.2	2,919
2.長期借入金	8,099	6,094	2,004	24.8	6,479
3.その他	1,232	1,177	55	4.5	1,183
固定負債合計	12,299	10,174	2,124	17.3	10,582
負債合計	17,015	15,037	1,978	11.6	15,029
(純資産の部)					
株主資本					
1.資本金	6,294	645	5,648	89.7	645
2.資本剰余金	6,111	3,004	3,106	50.8	3,004
3.利益剰余金	8,722	308	9,031		312
4.自己株式	14	2	12		2
株主資本合計	3,668	3,956	288	7.9	3,960
評価・換算差額等					
1.その他有価証券差額金	355	10	366		41
2.繰延ヘッジ損益	25	20	4		77
評価・換算差額等合計	380	9	371		119
純資産合計	3,287	3,947	659	20.1	3,841
負債、純資産合計	20,303	18,984	1,318	6.5	18,871

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 21 年 2 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考)前期 (平成 20 年 2 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	5,125	5,379	253	5.0	21,672
売上原価	1,642	1,647	4	0.3	6,835
売上総利益	3,482	3,732	249	7.2	14,836
販売費及び一般管理費	3,201	3,319	117	3.7	13,372
営業利益	281	413	131	46.9	1,463
営業外収益	114	116	2	1.9	490
営業外費用	140	152	12	9.1	583
経常利益	255	376	121	47.4	1,369
特別利益	17	12	4	28.9	54
特別損失	20	71	51	254.7	1,388
税金等調整前四半期(当期)純利益	252	317	64	25.6	35
税金費用	28	25	2	8.7	482
四半期(当期)純利益	224	291	67	29.9	517

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。